

# 令和2年度 農作物病虫害発生予察2月月報

令和3年(2021年)3月2日  
山口県病虫害防除所

## I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
2.1	5.6	4.1	1.5	11.2	9.2	2.0	-0.1	0.0	△ 0.1
2.2	6.5	4.7	1.8	13.6	10.0	3.6	0.8	0.3	0.5
2.3	10.6	5.3	5.3	17.6	10.6	7.0	5.5	0.7	4.8
2.4	3.8	5.6	△ 1.8	9.8	10.8	△ 1.0	-0.4	1.1	△ 1.5
2.5	10.3	6.0	4.3	17.5	11.0	6.5	3.5	1.5	2.0
2.6	8.1	6.3	1.8	13.7	11.4	2.3	3.8	1.7	2.1
平均・計	7.5	5.3	2.2	13.9	10.5	3.4	2.2	0.9	1.3
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
2.1	32.0	10.5	21.5	27.6	21.4	6.2			
2.2	0.0	11.2	△ 11.2	44.4	22.6	21.8			
2.3	38.5	13.7	24.8	19.0	23.0	△ 4.0			
2.4	10.5	16.5	△ 6.0	28.3	22.4	5.9			
2.5	3.0	18.7	△ 15.7	39.1	22.0	17.1			
2.6	15.5	11.9	3.6	15.9	13.4	2.5			
平均・計	99.5	82.5	17.0	174.3	124.8	49.5			

## II 作物の生育状況

イチゴ : 生育は順調で、早いものは第4果房が開花。出荷量は昨年と比べ増加し平年並みの見込み。

タマネギ : 年明け以降、日照時間も多く、平均気温も高めに推移しており、生育は草丈、生葉数とも平年に比べ進んでいる。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 果樹

2021年2月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数: 20) かいよう病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年14.3%)、発病葉率0.4% (平年0.5%)、発病度0.1 (平年0.2)、発病葉枝率1.7% (平年0.7%)で平年並みであった。	県内全域	少 169
ミカンハダニ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平年27.2%)、寄生葉率0.6% (平年1.8%)で平年並みであった。	県内全域	少 451
果樹全般 カメムシ類	クサギカメムシの隙間トラップによる越冬量調査(10か所)では、1トラップ当たり8.2頭(平年19.6頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—

2 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イチゴ (調査ほ場数: 20) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年11.5%)、発病株率1.2% (平年1.7%)、発病葉率0.2% (平年0.6%)、発病果率0.1% (平年0.2%)で平年並みであった。	県内全域	少 5
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年14.4%)、発病株率2.7% (平年1.0%)、発病果率1.0% (平年0.3%)で平年並みであった。	県内全域	多 10
菌核病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)、発病株率0% (平年0.0%)で平年並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年14.0%)、寄生株率1.9% (平年1.1%)で平年に比べやや多かった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少 10
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0% (平年43.5%)、寄生株率17.6% (平年15.3%)で平年に比べやや多かった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	甚多 少 46 計 61
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年28.8%)、寄生株率1.4% (平年5.4%)で平年に比べやや少なかった。 主要種はオンシツコナジラミであった。	県内全域	少 15
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年13.5%)、寄生花率1.1% (平年1.2%)で平年並みであった。主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	甚少 計 20

2021年2月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
タマネギ (調査ほ場数：27) べと病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年2.1%)、発病株率1.0% (平年0.3%) で平年に比べ多かった。1aあたり調査では、越年罹病株の発生ほ場率14.8% (平年4.3%)、発病株数3.2 (平年1.1) で平年に比べ多かった。 越年罹病株の初発生は、2月9日 (平年2月6日) に光市、山口市で認められ、平年に比べやや遅かった。	県内全域	少 21
白色疫病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年4.3%)、発病株率0% (平年0.9%) で平年並みであった。1aあたり調査では、発生ほ場率0% (平年7.1%)、発病株数0 (平年8.3) で平年に比べやや少なかった。 初発生は2月22日 (平年2月24日) に萩市で認められ、平年並みであった。	萩市	少 1
腐敗病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率3.7% (平年1.1%)、発病株率0.1% (平年0.0%) でやや多かった。1aあたり調査では、発生ほ場率3.7% (平年2.2%)、発病株数0.1 (平年0.2) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 7
ボトリチス属菌による葉枯れ症 (白斑葉枯病)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.4%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—
軟腐病、さび病、萎黄病	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—

お問い合わせ先 山口県病害虫防除所  
TEL (083)927-4006  
E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp